

敦賀市議会

議会だより

12月
定例会

CONTENTS

- 議員定数削減・・・・・・・・・・2
- 常任委員会審査報告・・・・・・・・3～5
- 特別委員会中間報告・・・・・・・・6～7
- 議会フロア紹介・・・・・・・・・・8
- 一般質問・・・・・・・・・・9～14
- 審議結果一覧・・・・・・・・・・15
- 議会日誌、3月定例会の日程・・・16



旧議場全景



旧議場 昭和49年からの歴史に幕

最後の定例会閉会后、全議員にて感謝をこめて

音訳（CDに録音）された議会だよりもありますので、ご希望の方は社会福祉協議会（電話 0770-22-3133）までご連絡ください。

議員定数 24人から22人に

2人減とする条例案を可決

議員定数については、令和3年6月28日付で、議長から議会運営委員会に対し以下の2点について協議を行い、令和4年3月末までに結論を出すようにとの諮問がありました。

諮問事項

- ①敦賀市議会の議員定数を定める明確な基準
- ②削減人数について

これを受け、議会運営委員会では、7月29日を皮切りに計4回の委員会を開催し、審議を重ね、10月20日には諮問事項に対する委員会としての結論を多数決にて決しました。

なお、審議結果については、11月22日付で議会運営委員会より議長に答申しました。

諮問事項に対する答え

- ①敦賀市議会の議員定数を定める明確な基準
委員会中心主義の観点から、常任委員会の構成人数を基に定数を定める
【全会一致にて決定】
- ②削減人数について
2人 【賛成多数にて決定】
※1常任委員会あたり7人、3常任委員会体制に議長を加えた22人が適するとの考えに基づく

その後、今定例会において、議会運営委員会の審議結果を尊重した複数の議員より、議員定数を「24人」から「22人」に改める議案「敦賀市議会議員の定数を定める条例の一部改正の件」が提出されました。討論において、3名の議員より反対の意見が述べられた後、採決を行った結果、賛成多数にて可決しました。

これにより、次回の敦賀市議会議員選挙から、議員定数22人が適用されます。

● 予算決算
常任委員会 ●

〔第78号議案〕

令和3年度敦賀市一般会計補正予算(第10号)

質疑

◎地域経済循環創造事業費補助金

問 事業実施主体法人の目的と収支計画は。

答 地域や世代、業種等の垣根を越えて、連携した事業を実施することを目的とした法人であり、当面は空き家や空きビルの利活用を通じた地域活性化というところで、まずはワーケーションという切り口から取り組みを始めたのと伺っている。国庫補助を受けるため、国に対して提出した計画によると、初年度は約570万円の売上を想定しており、経費等を差し引いても、初年度から利益を出す計画となっている。

問 補助するにあたり、相手先の財政的基盤等どのように確認したのか。また、事業継続が困難となった場合の対応は。

答 当該事業については、地域の金融機関と連携しながら実施するもので、

敦賀信用金庫から融資を受けるにあたり、収支計画や事業計画等について十分な指導を受けている。そのため、金銭的な面ではしつかりとしたサポート体制のもとで事業を実施できるものと考えているが、仮に、事業から撤退することになった際には、補助金を返還していただくことになる。

問 ワーケーションと聞くと、海や山に囲まれた自然の中で仕事をするイメージだが、中心市街地に施設を整備する理由は。

答 一般的なワーケーションは、リゾート地に長期滞在し、休暇を楽しむながら仕事をするが、今回の事業は交流型ワーケーション施設を整備するものである。神楽町2丁目という中心市街地に滞在し、食事や買い物のために商店街を訪れたり、市内観光地を巡ったり、一ヶ所に滞在するのではなく、今回整備する施設を拠点として、様々な場所に向き、市民との交流を深めてもらいたいと考えている。



◎敦賀きらめき温泉改修事業費
問 今回の施設の修繕は、指定管理者候補者からの要望を受けて実施するものか。

答 令和4年4月の営業再開を目指し、指定管理者の募集等を行う中で、現地を見学された複数の業者から、現状の施設に関する様々な意見をいただいた。その意見等も踏まえつつ、敦賀市としても修繕が必要と判断した部分について、補正予算を計上したものである。

問 指定管理者が決定した後、追加で修繕等が必要になる可能性はあるのか。

答 指定管理者の指定に関する議案をお認めいただければ、令和4年4月の再開に向けて、業者と打ち合わせ等を行うことになる。その中で、細々とした修繕が出てくる可能性はあるが、既決の予算内で対応させていただきたいと考えている。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

総務民生

常任委員会

〔第94号議案〕
敦賀市一般廃棄物最終処分場建設工事(土木) 請負契約の件

質疑

問 落札者と、それ以外の最低制限価格を下回った事業者の入札額にそれほど差がない中で、市民感情とすれば少しでも安いほうがいいと考えるが、工事内容等は加味せず、単純に金額のみの比較となるのか。

答 入札額により判断しており、最低制限価格を下回った場合は無条件で失格となる。

問 最低制限価格について、どのように数字を積み上げて設定しているのか。また、今後もこの入札方法を進めていくのか。

答 最低制限価格は、設計額における直接工事費、及び間接工事費ごとに市で定めた率を乗じた額に、ランダム計数を乗じて算出する。最低制限価格については、手抜き工事や下請け業者へのしわ寄せ、また安全対策の不徹底等をまねくような、採算を度外視する入札を未然に防止する目的により、全国的に導入されている制度であり、市内事業者への負担軽減の観点からも、今

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

後も維持していきたいと考えている。

問 以前の、角鹿中学校や庁舎解体工事の入札では、最低制限価格及び調査基準価格を設けていたが、今回は最低制限価格のみである。入札方法が異なるのはなぜか。

答 敦賀市では、土木工事や建築工事については、基本的に最低制限価格制度を適用しているが、解体工事に関しては、これまで、最低制限価格を下回り失格となる事例が多かったため、今年6月に要綱を施行し、調査基準価格を設ける低入札価格調査制度を適用している。

問 設計額について、積算時と入札執行時では、物価の上昇などにより金額が変動する場合があるが、今回の入札においては、入札執行時の実勢価格についてきちんと調査し、設計額を算出したのか。

答 今回の入札に関しては、環境省の交付金要綱による積算、最新の資材単価及び見積を使用し、適切に設計額を算出していると考えられる。

問 一般廃棄物最終処分場整備に関して、今後、土木以外の入札も予定されるのか。

ていると思うが、それらも全て最低制限価格制度を適用するのか。

答 今後、建築工事、機械工事、電気工事、水処理施設の4件に分けて発注する予定だが、水処理施設については総合評価方式を適用し、あとの3件は最低制限価格を設けた一般競争入札を予定している。

問 入札の公告時に、設計等についてはどの程度の情報が事業者に公開されるのか。また、事業者は入札の際に入札額の内訳も提示するのか。

答 入札公告時に、設計額を公表しており、設計書の内容については、金額を伏せて、数量等の詳細を公開している。また、入札の際には、事業者から入札額の内訳を提出いただいている。

討論

反対 今回の入札については、最低制限価格との関係で、各事業者の頑張り具合がちゃんと評価されているのか、腑に落ちない部分があり、反対である。

賛成 入札に参加した6者のうち1者のみが最低制限価格を上回ったという形はどうかと思うが、入札制度や価格の設定方法について確認したところ、規定に基づき適正に執行された入札であると考えられるため、賛成する。

ころ、規定に基づき適正に執行された入札であると考えられるため、賛成する。

賛成 今回の入札は、適正に執行されていると思うので賛成する。また、入札の結果だけ見ると、市民感情として安い方がいいのではないかと思うのは理解するが、日本の現状から見ても、最低制限価格制度は必要であると考えられる。ただし、今後は、どの入札に、どの入札制度が適用しているのかについて、市民への透明性の確保の観点からも、きちんと制度化するほうがよいと考える。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

産経建設 常任委員会

〔第90号議案〕
指定管理者の指定の件
※敦賀きらめき温泉リラ・ポート及び敦賀市グラウンド・ゴルフ場（リラ・グリーン）

質疑

問 指定管理者となる団体の構成員である越前健康開発有限会社は、温浴施設の運営実績があるとのことだが、県

内で運営している施設はあるのか。

答 越前健康開発有限会社は、南越前町花はす温泉そまやま、福井市美山楽く楽亭、セントピアあわらの3施設を運営している。

問 選定結果報告書を見ると、今回、選定された共同事業体ONE teamは、1000点満点の評価点のうち741・43点とのことだが、減点された主な理由は。

答 指定管理者候補者選定委員会では、減点方式ではなく、点数を積み重ねて評価を行っている。共同事業体ONE teamは、財務状況や類似業務の実績、新コンセプトなど、合わせて最も高く評価され、今回の選定に至ったものである。

問 選定委員会の講評の中に、地元企業と連携し、地域に根差した拠点施設として管理運営を進めるように記載があるが、これまで同様、地元の企業への発注や、市内から従業員を雇用する予定はあるのか。

答 具体的な話は出ていないが、スタッフの地元雇用を積極的に行い、また、外部委託や物品購入に関しては市

内業者を活用し、地域産業の活性化に貢献するとの提案を受けている。

討 論

賛成 共同事業体の2社はもちろん、敦賀市もしっかりと連携を取りながら、早期の再開に向けてしっかりと運営していただきたいと考えるため、賛成である。

採 決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔請願第4号〕

政府の新型コロナウイルス禍での米価暴落対策が皆無の中自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める請願

討 論

賛成 敦賀の農家を守ることは、敦賀の自然を守ることに繋がる。今、まさに農家の方が困っていて、少しでも早い救済を求めている現状があるならば、何らかの支援策を講じるべきであると考え、賛成である。

反 対

米の市場隔離政策は、その後の方向性を決めておかないと、後々の米価に影響を及ぼしてしまうことが考えられる。米の輸出や災害時の備蓄米を増やし、等級の低い米は飼料用にする

などの方法で需要と供給のバランスをとったほうが、長い目で見て農業の安定化に繋がる。過去に、直接支払いで所得補償を実施した際には、継続性がないため、補償が切れたタイミングで離農する方が増えた。一時的なものではなく、農家の方のモチベーションを上げるため、美味しく安心してものを作った際にはきちんと補償するよう

な、長期的な政策を実施する必要があると考えるため、反対である。

採 決 賛成少数

不採択とすべきものと決定



文教厚生 常任委員会

〔第87号議案〕

敦賀市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例並びに敦賀市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正の件

質 疑

問 昨年度、国から慰労金の支給が

あったときは条例改正しなかったが、なぜ今回特別手当を支給するにあたり条例改正することになったのか伺う。

答 昨年度の慰労金の支給は、要綱を制定し、支給を行ったが、今回の特別手当は、給与の中の手当として支給するため、特別手当の支給に関する条文を追加する条例の改正が必要となった。

討 論

賛成 コロナ禍の大変な状況にも関わらず従事してくれた皆さんに手当が支給されるということで賛成としたい。

採 決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第92号議案〕

指定管理者の指定の件
※敦賀市福祉総合センター

質 疑

問 敦賀市福祉総合センターの指定期間が3年なのはなぜか。

答 市から指定管理者へお願いする業務内容について、社会情勢の変化等に対応しやすい点や新規事業者の参入の機会が確保され、技術革新や新しいノ

ウハウを導入しやすい点などから指定期間を3年とした。

採 決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第95号議案〕

角鹿小中学校サブアリーナ新築工事及び角鹿児童クラブ新築工事請負契約の件

質 疑

問 児童クラブ及びサブアリーナの工期について伺う。

答 児童クラブについては、令和3年12月22日から令和4年10月31日までを予定している。また、サブアリーナについては、令和3年12月22日から令和4年3月31日までとしているが、財源である国土交通省の国庫補助金が令和3年度に一括で交付決定されていることから、国の繰り越し承認がおり次第、令和4年10月31日まで工期を延長することを考えている。

採 決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

原子力発電所
特別委員会

関西電力株式会社関係

質疑

問 美浜発電所3号機A1非常用ディーゼル発電機が定期試験中に自動停止した事象について、安全を守るために、担当課はどのような確認を行い、どのような指導を行ったのか。

答 異常事象が発生した翌日に現場の確認を行い、その後も随時、原因として推定されるものについての報告を受け、その内容の確認を行った。調速装置に不具合があると推定されたことから、まずはその調速装置を予備品と取り替え、詳細に調査するとの報告を受け、詳細な調査が終わるまではしっかりと監視を行うことなどを伝えた。

問 非常用ディーゼル発電機が正常に1台動いていれば、緊急時に原子炉を安全に停止することができるかどうか。

答 1台で原子炉を安全に停止できるような設計であると関西電力株式会社より報告を受けている。

問 多重防護の観点から、A、B2基が同時に使用できなくなった場合のバックアップについて確認はしているのか。

答 福島第1原子力発電所の事故の教訓を踏まえ、バックアップ電源として空冷式の発電機や電源車を高台に設置していることを確認している。

高速炉開発関係

質疑

問 第5次エネルギー基本計画から第6次エネルギー基本計画策定までの3年間、高速炉開発についてどのような推進策が国から示されたのか。

答 国は、戦略ロードマップを元に、国際協力を活用しながら、高速炉等の研究開発に取り組むとしているが、もんじゅ周辺について具体的な取り組みに対する説明はないことから、国に対し、説明を強く求めていきたいと考えている。

福井県原子力総合防災訓練関係

質疑

問 市民及び敦賀市職員の参加人数について伺う。

答 市民が約70名、市職員は約60名が参加した。

問 今までの訓練とは違い、研修中心の訓練となった経緯について伺う。

答 当初は広域避難や県外でスクリーニングなどを実施する計画だったが、コロナ禍により急遽県から中止の連絡があったため、県内で行うことができた研修中心の訓練に変更した。

新幹線対策
特別委員会

駅西地区土地活用事業について

質疑

問 書籍の調達方法において、初期の蔵書を敦賀市が負担する理由は。

答 行政が、委託販売という制度を利用し、閲覧により汚損等が生じた書籍を返品することはいかなるものかという民間対話の結果、指定管理者募集要項作成の際、初期在庫の3万冊については市が在庫を持つ形とした。指定管理期間の開始後は、指定管理料の中から支出してもらう。

問 市民の税金のリスクとして考えた

時、なるべく初期在庫3万冊を完売してもらいたいと考えるが、1年間ずっと売れず、市民が手にし、ある程度汚れてきた時、その本は廃棄処分等となってしまふのか。

答 例えば古本価格といったことも考えられるが、今後指定管理者と一緒に詰めていきたい。

北陸新幹線(駅部他)建設工事(駅前広場含む)について

質疑

問 ムービングウォークにおいて、検討していた自立型水素エネルギー供給システムH2Oneによる電力供給は、システム製造者の東芝エネルギーシステムズが三相3線(動力対応)のH2Oneを廃止する方針としたことに伴い、導入を断念し、JR西日本、または、北陸電力から供給を受けることを検討しているとの説明があったが、水素は本市の政策上の目玉ではないのか。他のメーカーを含め、水素エネルギー供給の代替案はないのか。

答 他社にも確認したが、水素から電力を発生させるワンコンテナのシステムは難しいことを確認した。

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

問 断念した理由として、新幹線工事の工程上、新たなシステムを導入する時間がないことからの判断なのか。

答 すでに駅舎内の電気の配線回路等についての工事は進んでおり、最終的な判断を11月末までにしてほしいとの鉄道・運輸機構からのオーダーもあったこと。東芝側も、10月に市に報告するまでの間、水素エネルギーについての本市の思いを酌んで社内でいろいろな検討はしていたが導入実績のあるものを示せなかったという経緯も踏まえての判断だった。

問 計画が変わったことのコスト比較を伺う。

問 イニシャルコストは国費を充当し、H2Oneのランニングコストについては市の負担として、メンテナンス費用が年間で約200万円。それを遠隔で監視するウェブ監視装置に年間60万円、さらに、H2Oneで不足する電気料金として30万円から50万円程度必要となる。合計で約300万円のコストがかかる。それに対し商業電力等を使用した場合の電気代については、年間70万円から100万円程と想定している。

廃棄物対策 特別委員会

本市と美浜町との一般廃棄物の共同処理について

美浜町にて当初、令和4年3月から新分別方法でごみ出しを行うことで検討していたが、再検討し、本市との共同処理開始の令和4年4月1日に変更すると聞いている。

質疑

問 美浜町からのごみ収集車のルートについて、一番近い北田地区からは、国道27号ではなく、関や金山を通ることもあるのか。

答 美浜町と協議をしながらルートを考えており、国道27号バイパスを通り清掃センターへ向かう形を考えている。

新清掃センター整備事業について

整備・運営事業について、令和3年10月4日から入札公告をホームページ上に公表し、現在は、入札提案書等の作成期間で、提出期限は令和4年3月14日としている。来年度には、提案事業者の審査、選定等を予定している。また、清掃センターに係る関係車両に

ついては、工事関係車両、供用開始後の関係車両、共に、周辺区の集落内を通行しないよう周知徹底して進めてまいりたい。なお、市道原8号線については、道路延長に係る設計業務に着手し、今年度中に業務完了を予定している。景観については、周辺環境に調和したデザインとなるよう配慮しながら事業を進めたい。

質疑

問 提案事業者の審査、選定について、指摘事項がたくさん出てくると思うが、1か月半ぐらいで審査するのは、難しいのではないか。

答 審査期間は2か月間あり、この間にコンサルタント等と協議をしながら、しっかりと審査してまいりたい。

問 見積等の検証業務をコンサルタントが行うと思うが、最終的には、検証報告書が提出されるのか。

答 この事業は、総合評価落札方式で進めており、入札に係る提案書等の提出を受け、要求水準書を満たしているか、コンサルタントの支援を受けて事前審査を行う。その後選定委員会において、各提案書を落札決定基準書に示された審査方法等に基づいて得点化

し、総合的な評価点が最も高い入札参加者を最優秀提案者という形で進める。

新一般廃棄物最終処分場整備事業について

土木工事は、契約に係る議案が可決後、年明けから工事に着手したい。建築工事は、埋立処分棟と浸出水処理棟を分離して発注することとする。関係車両ルートについて、工事に係る資材等搬入は、基本的に国道27号としている。圃場への土砂搬出車両は、関係区の生活道路を通行する場合、速度制限等を徹底する。新施設供用開始後は、沓見区の集落前の生活道路を通行しないよう配慮する。景観については、屋根付の最終処分場を整備し、環境面、景観面について配慮して進めてまいりたい。

質疑

問 最終処分場の建屋、高さはこれぐらいにしてほしいなど、今度、高さの制限等は決めていくのか。

答 どこまでの高さでもいいということではなく、発注仕様書に基づき建設を進めていくことになり、当然条例等の規制については、しっかりと守っていききたい。

新庁舎 4 階の議会フロアを紹介します！

A



- ・中央エレベーターを降りた正面左側に議場への入口があります。
- ・傍聴される方は、議場入口前にて受付をお願いします。

B



- ・折り畳み式の机がつけました。

C

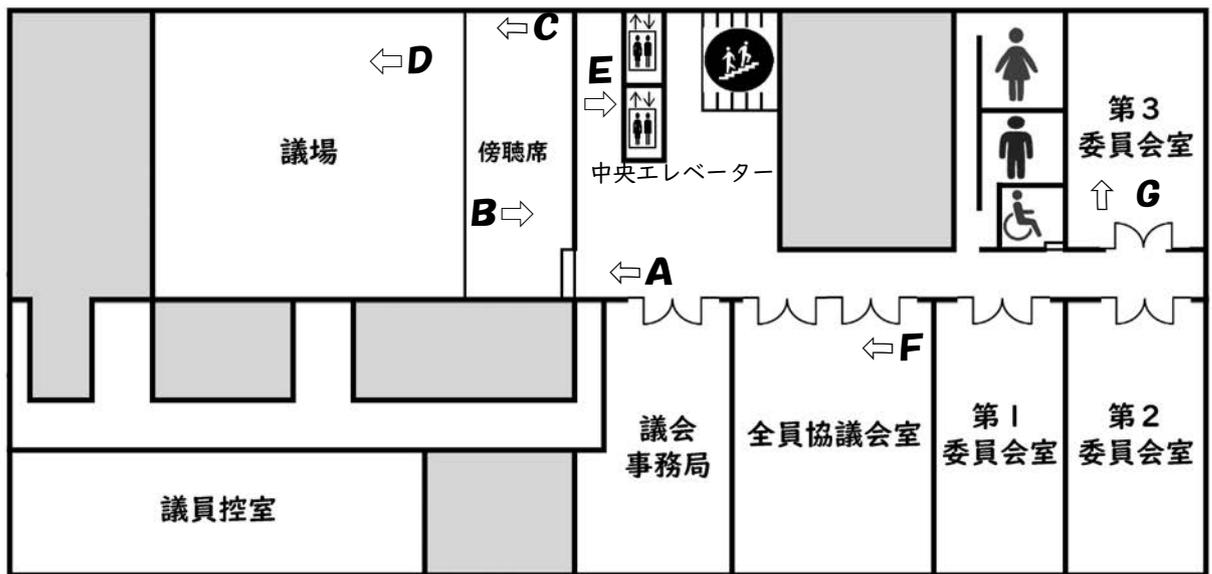


- ・スロープがつき、車椅子の方の傍聴スペースもできました。

D



- ・議場では本会議(代表・一般質問等)が行われます。
- ・側面にはモニターがあり、RCNでの中継映像や代表・一般質問での残時間等が表示されます。



議会フロアにお越しの際は、中央エレベーターまたは中央の階段にて4階までお越しください。

E



F



- ・主に全員協議会や予算決算常任委員会の全体会等が行われます。

G



- ・主に3つの常任委員会がそれぞれの委員会室で行われます。
- ・常任委員会では、主に議案を分野ごとに詳しく審査しています。

項目一覧

- ◎和 泉 明
 - 1 笙の川整備計画について
 - 2 エネルギー政策について
- ◎福 谷 正 人
 - 1 この冬の除雪体制について
 - 2 敦賀市のまちづくりの方向性、イメージについて
- ◎松 宮 学
 - 1 高齢者のコロナワクチン3回目の接種について
 - 2 中池見湿地について
 - 3 自治体DX推進計画について
- ◎今 川 博
 - 1 中心市街地活性化の課題等について
- ◎林 正 男
 - 1 衆議院議員の定数配分変更に伴う市政への影響について
 - 2 敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて
 - 3 花火大会について
- ◎今大地 晴 美
 - 1 敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書について
 - 2 リラ・ポートについて
- ◎前 川 和 治
 - 1 企業版ふるさと納税について
 - 2 ふるさと納税について
- ◎山 本 貴美子
 - 1 環境基本計画と新清掃センターについて
 - (1) 第2次敦賀市環境基本計画
 - (2) 新清掃センター
 - 2 投票しやすい環境づくりについて
 - 3 原油価格高騰の対策について
 - (1) 中小業者への支援
 - (2) 福祉灯油のとりくみ
- ◎山 本 武 志
 - 1 再生可能エネルギーと地域共生について
 - 2 部活動の地域移行について
- ◎縄 手 博 和
 - 1 高齢者の事故を減らす取組について
 - 2 新幹線開業に向けての市街地整備について
- ◎林 恵 子
 - 1 マイナンバーカードについて
 - (1) 敦賀市における進捗状況
 - (2) 今後の取組予定
 - 2 ICT化の推進について
 - (1) 保育園業務システムのICT化
 - (2) GIGAスクール構想の小・中学校の取組内容と進捗状況
 - 3 働き方改善推進事業について
 - (1) 学校運営指導員及び部活動指導員の取組状況・成果
 - (2) 地域移行についての取組状況
- ◎北 村 伸 治
 - 1 敦賀市の上・下水道の現状と今後の計画について
- ◎中 道 恭 子
 - 1 ごみ減量化と「プラスチックスマート」について
 - (1) 本市におけるごみ減量化の取組と課題
 - (2) プラスチックスマートの推進
 - 2 女性の視点からの防災対策について
 - (1) 男女共同参画の視点からの防災対策の推進
 - (2) 「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」の活用
 - (3) 防災リーダーの育成
- ◎大 塚 佳 弘
 - 1 市民を守る新型コロナ対策ワクチン接種の取組みについて
 - (1) 新型コロナ対策のワクチン接種進捗状況と課題対応
 - (2) 新型コロナワクチン3回目接種に対する対応と課題対応
 - 2 敦賀市の地域共生推進と今後の展望について
 - (1) 障がい者就労の取組み（障がい者雇用率と農福連携事業の確認）
 - (2) 地域共生社会づくりに向けた重層的支援体制への取組み
 - (3) 地域生活支援拠点の取組みと今後の展望
- ◎豊 田 耕 一
 - 1 子供にツケをまわさない財政運営について
- ◎馬 淵 清 和
 - 1 産業団地について
 - 2 北陸新幹線開業に向けた整備状況と敦賀以西の延伸について
- ◎川 端 耕 一
 - 1 農業の維持・振興について
 - (1) 農業用施設の維持管理
 - (2) 農業の担い手の育成
- ◎三 國 真 弓
 - 1 エアコン設置助成について
 - (1) 生活保護世帯のエアコン設置助成状況
 - (2) 高齢者世帯へのエアコン設置助成
 - 2 学習の遅れの取戻し方について
 - (1) 本市の学習環境
 - (2) 成績格差対策

敦賀市議会HPやこちらから動画の視聴ができます。





和泉 明
(市政会)

笹の川整備計画について

問

新松島橋が完成すると臨港道路との交差点が複雑になり、交通規制も大きく変更する必要があると考えます。まず地元住民と新たな交通規制について意見集約した上で、警察当局や福井県と協議すべきと考えるが市の見解を問う。

答

横断歩道や停止線の位置等についても地元と協議していかねばならないと認識しているので、地元の要望も聞きながら県と警察当局と協議していく。

問

笹の川の河川水を利用し沿線地区に消雪施設を整備してほしいと一般質問を何度も行ってきたが、護岸の改修方法が決まる段階で県と地区との間で協議したいとの答弁であった。その時期に來たと思うが市の見解は。

答

右岸の三島側に消雪施設を整備するには臨港道路に送水管を埋設しなければならず、技術的課題が大きく引き続き福井県と協議を行っていく。



福谷正人
(市政会)

この冬の除雪体制について

問

高齢者のみの世帯等、除雪の助けが必要な方は、どこに連絡すればよいか伺う。

答

現在、担当課は決まっていないので、一度検討したい。

敦賀市のまちづくりの方向性、イメージについて

問

何でもある、いろいろある、は必ずしも強みではない。市を一言で表すイメージ、理想形、ブランディング等について、考えを伺う。

答

敦賀のブランディングは、鉄道と港となるが、これに加え優しい日本人がいた場所を根底として、鉄道と港、気比の松原、歴史文化を表すことができる魅力的なイメージを、新幹線誘客に向けたものとして検討していきたい。

答

シティプロモーションは、観光だけではなく統一したイメージが難しい中で、いろいろな地域資源がある市全体のイメージを作るのは難しいのではないかと思う。



松宮 学
(日本共産党敦賀市会議員団)

中池見湿地について

問

中池見湿地の運営費について、基金だけでは中池見湿地の自然を守ることができない。この先、基金が枯渇することは目に見えており、木道の修理など大変お金がかかるため一般財源を使うべきと考えるがいかがか。

答

中池見湿地の保全、活用の体制について、当面市が事務局を務めるが、将来的には、行政から独立した団体が独自に予算を確保し、保全活用計画を推進していくこととしており、市として一般財源を使うことは考えていない。

自治体DX推進計画について

問

マイナンバーカードを申請しない市民に強要することはないか、カードを持たない市民も今までもおりの行政サービスを受けられるのか伺う。

答

本市が申請を強要することはない。カードを持たない市民に対しても、現在行っている行政サービスを縮小することはない。

令和3年度「議会報告会」を番組放映しました。

2/20、2/21のRCN放送を見逃した方は市議会のホームページやYouTubeの市公式アカウントからご覧いただけます。

視聴された方はアンケートにご協力をお願いします。

以下の方法にてお願いします。

- ・市議会ホームページの議会報告会のページまたは右のQRコードから
- ・市議会ホームページに掲載の様式にてメール又はFAX

メール gikaihoukokukai@ton21.ne.jp FAX 0770-23-1900





今川 博
(市民クラブ)

中心市街地活性化の課題等について

問 敦賀酒造保全活用事業は現在、未達成である。歴史的価値のある建物の活用のため、協議継続を粘り強く要望するが、今後の対応方針を伺う。また晴明の朝市が中止となっているが、今後の対応方針を伺う。

答 交渉を行ったが、所有者の同意を得られないため、事業実施は、困難であり、現状としては計画が白紙である。晴明の朝市については、港都つるが(株)が朝市実行委員会と今後の在り方を協議しており、朝市運営形態や実行委員会の次世代への引継ぎ等も踏まえ、朝市再開に向け働きかけている。

問 国道8号空間活用について農産物生産者、水産物販売者の軽トラックによる軽トラ市開催による賑わい創りの可能性を伺う。

答 ご相談やご要望があれば、引き続き申請の支援、開催したい人に寄り添う助言等を行いたい。



林 正男
(同志会)

敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて

問 令和2年2月5日から休館になつているリラ・ポートの令和4年4月営業再開が見えてきた。指定管理者はONE teamが候補者であり、指定管理料は5年で5億3487万円、入浴料金について市内客700円、市外客1000円の入浴料金に変更はないか伺う。

答 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの設置及び管理に関する条例では、入浴料金の上限額を満12歳以上は一人当たり1000円、満12歳未満は一人当たり500円、これを上限額で設定している。休館前までは市内、市外の方ともに大人一人当たり700円、子ども一人当たり350円に設定していた。再開後の入浴料は、今議案が上程中の指定管理者決定後に、指定管理者が条例の範囲内で額を定め、市が承認する。回数券を販売するのであればその料金設定等の詳細についても、同様となる。



今大地晴美
(無所属)

敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書について

問 報告書の外部の知見としての提言には「第6次総合計画の総括的な評価がない。以前から何度も提言している」との記述があるが、この知見に対する教育長の見解を聞く。

答 報告書は、法律に基づき、市民の推進を目的に実施し、公表している。各課の業務において目標が達成した事業がある点、評価方法改善の指摘も参考に点検、評価を適切に行い、効果的な教育行政の推進に取り組んでいきたい。

問 知見で指摘されている状態が今も続いているということに関して、問題はどこにあると考えているのか。

答 教育委員会は膨大な業務を抱えている。外部評価での指摘事項については承知している。今後は第2期敦賀市教育振興基本計画の施策に関する事業に絞り込み進捗や成果がより分かりやすい形で点検、評価を行っていききたい。

議会だよりはスマホでもご覧いただけます

自治体広報紙を配信する無料アプリ「マチイロ」から議会だよりを閲覧できます。

閲覧の流れ

マチイロをダウンロードし、住んでいる地域として「敦賀市」を登録すると、議会だより発行のお知らせがスマートフォンまたはタブレット端末に届き、アプリで読むことができます。

利用上の注意

- ・マチイロは、株式会社ジチタイワークスが作成したものです。
- ・アプリ閲覧中表示される広告の内容については、市は一切責任を負いません。
- ・アプリのダウンロードや閲覧による通信料は利用者負担となります。



マチを好きになるアプリ





前川和治
(無所属)

ふるさと納税について

問

生まれてから高校卒業までの行政費用と住民税総額は、一人当たり約2800万円。これに、転出者数の350名を掛けると98億円。単純計算として、年間98億円のふるさと納税の寄附が集まると、敦賀市としては都会と地方の不均衡を解消できる計算が成り立つと考えるがどうか。

答

補填をするために寄附金を集めているということではなく、敦賀市で子どもが生まれ育っていくことについて、市にとって負担という考えを持っていない。



山本貴美子
(日本共産党敦賀市会議員団)

環境基本計画と新清掃センターについて

問

ごみの排出を減らす対策として、キエー口を普及している自治体が増えている。黒土を入れた木箱に透明の波板で蓋を付けるだけ、土と太陽と風の力で生ごみを分解するキエー口の普及に本市も取り組んではいかがか。

答

効果、取り組みやすさ、他市町の状態を踏まえ考えたい。

投票しやすい環境づくりについて

問

投票に行くのが難しい方への支援が求められている中、政府は、投票所までの送迎バスの運行や無料乗車券の発行、移動期日前投票所の設置に対し、国政選挙では全額、地方選挙では2分の1を交付税措置している。ぜひ敦賀市でも移動投票所、投票所への移動支援、タクシー、介護タクシーへの支援を実施すべきと考えるがいかがか。

答

国の補助もあるので、今後研究していきたい。



山本武志
(市民クラブ)

再生可能エネルギーと地域共生について

問

再生可能エネルギーの導入拡大に伴う無秩序、無責任な開発により、住民の安全や安心が脅かされることのないよう、実効性ある抑止力として太陽光発電の適正な設置に関する条例を制定することを提案するが考えを伺う。

答

太陽光やほかの発電事業を含め新たに規制をする条例を設けるということは現在のところ考えていない。

部活動の地域移行について

問

部活動の地域移行を地域一体となって進めていくことは、広く市民に関わることから、市長のリーダーシップのもと早期に移行スキームの整備を図るべきと思うがいかがお考えか。

答

今は先進的な取組みとして少しづつ実施しているとされており、今後は実践を積み重ねながら、成果や課題を検証し、より多くの種目で地域移行が実現できるようにしていきたい。



縄手博和
(市政会)

高齢者の事故を減らす取組について

問

敦賀はコミュニティバスの整備がされていて、バスの便も多いので、無料化を取り入れてみてはどうか。

答

高齢者の無料化については、現在検討はしていないが、今後も利用促進を図り、運行経費と利便性のバランスを考慮しながら持続可能な公共交通を目指していく。

新幹線開業に向けての市街地整備について

問

これからの敦賀を見据えて、路上喫煙禁止条例を制定してはどうか。

答

本市において路上喫煙禁止条例の制定を直ちに検討する状況ではないと考えているが、喫煙者のマナー向上に向けた取組の必要性は認識しており、今後、広報等により市民の皆様には啓発をしていきたいと考えている。



林 恵子
(市政会)

マイナンバーカードについて

問 本市ではなぜコンビニでの行政手続きに使用できないのか、その理由と今後の方針を問う。

答 システムの導入費用や維持コスト、証明書1枚当たりの単価も非常に高額なことから現在導入を決定していないが、普及率等の状況を注視しつつ、利便性向上と将来的な財政負担等を慎重に見極めながら検討を続けていく。

ICT化の推進について

問 保育園のICT化については、スムーズに運用を開始できたようだが、反面、保育士のコミュニケーション能力や保護者との信頼関係の低下を心配する。フォローについて見解を問う。

答 保護者の利便性向上と保育業務の効率化を図るために導入したものであり、お子様と向き合う時間が増えた。日々の変化や成長の様子を登降園時中心に保護者に伝え、積極的にコミュニケーションを図っていく。



北村伸治
(市政会)

敦賀市の上・下水道の現状と今後の計画について

問 本市では、昭和36年に初めて舞崎浄水場ができ安全で安心できる良質な水道水が市内の各家庭に供給されるようになった。この上水道の元になる水源地の数や配水タンクの設置場所、その容量を問う。

答 水道の水源は、地下水、伏流水、湧水及び表流水があり、これらの水源の総数は36か所ある。配水池は昭和、木崎、中郷、天筒、高野、野坂、みどりヶ丘、沓見の他東郷、東浦、西浦、愛発の各地区にあり合わせて32か所ある。配水池の容量は32か所を合計し、2万8940立方メートルである。

問 下水道が昭和58年から家庭内の汚水を下水道管に流しているが、この整備状況と今後の計画を問う。

答 現在は野坂、関、沓見、山泉堂地区において順次整備を進めており、今後は5年から7年の間で第7期事業計画区域の完了を目指している。



中道恭子
(公明党)

ごみ減量化と「プラスチックスマート」について

問 ごみアプリを導入し、ごみの分別とリサイクルを推進してはどうか。

答 ごみアプリは、通知機能や検索機能も備え、お手軽に利用できるなどメリットも多くあるので、他市の事例を参考に、導入について検討していきたい。

女性の視点からの防災対策について

問 国は2025年までに政策、方針を決める防災会議での女性委員の比率を30%とする目標を掲げている。女性の視点を取り入れ、地域の防災、復興の対応力を強化するということだが、本市の現状について問う。

答 敦賀市防災会議の女性委員は35名中3名であり、8.6%である。今後は、女性比率の向上に努めていきたい。



大塚佳弘
(公明党)

市民を守る新型コロナ対策ワクチン接種の取組みについて

問 3回目接種の予約受付体制と、申込み時の混雑解消方法を問う。

答 ウェブ予約とコールセンターへの電話予約で行う。一週間ごとに2500人前後の対象者に順次接種券を発送する。届き次第予約可能となり、電話集中の混雑緩和になると考えている。

敦賀市の地域共生推進と今後の展望について

問 地域生活支援拠点令和3年4月から、市内事業者に登録依頼しているが、状況と課題を問う。

答 市内の社会福祉法人等には通知、相談支援事業所には訪問で協力を依頼し、9事業所に登録を頂いた。課題として体験機会・場の提供や緊急時の受入れ対応の機能を有する、短期入所や生活介護等のサービス事業所の登録がないことから、令和3年11月に再度社会福祉法人等へ協力依頼をしている。



豊田耕一
(同志会)

子供にツケをまわさない財政運営について

問 財政運営面で、子どもにツケをまわさない為に、市長は、これから何を実践すべきと考えているのか。

答 令和11年度には非常に厳しい財政状況になる為、改善をしながら財政運営を進めていく。

問 若者たちが、本市へ帰って来る為の支援拡充を求める。

答 就労の為、本市に継続して5年以上居住した場合、返還が免除される奨学金制度等を通じて、今後も若者に定着をしてもらえるよう努める。

問 4年制大学へ進学した場合、要件を満たせば、270万円全額免除される奨学金制度は、採用予定者数が10名程度とあるが、もっと需要はあると考えるため、拡充して欲しいか。

答 要件を満たす方がいる場合は、10名を超えて採用する。



馬淵清和
(市政会)

産業団地について

問 敦賀市産業団地と第二産業団地の雇用人数は。

答 市産業団地全体では428名、市内の方は347名を雇用しており、第2産業団地では110名、市内の方は83名の雇用を見込んでいる。

問 次期、産業団地の計画をどう考えているのか。

答 本市や周辺環境を含めた立地優位性や今後伸びる業界を調査し、進出可能な産業団地整備を検討したい。

北陸新幹線開業に向けた整備状況と敦賀以西の延伸について

問 本市の並行在来線の負担金と拠出金、また北陸新幹線の建設負担金は。

答 並行在来線負担金は4180万円、拠出金は約6億4000万円、建設負担金は8億6000万円になる。



川端耕一
(市政会)

農業の維持・振興について

問 国の支援制度の対象とならない地域にある農業用施設の維持管理について、農家の負担割合を見直すべきだと思うが、市の見解を伺う。

答 農道や水路は、農業者だけでなく地域住民が受益を得るものと考えている。地元負担の割合60%が妥当かどうかについて、今後、検討していきたい。

問 新規就農者の確保に直接人材募集できる地域おこし協力隊を活用してはどうか。本市の進める移住、定住の促進にも合致する。受入れについて農業者や関係団体等の協議や受入体制の構築、これが一番必要だと思うが市の見解を伺う。

答 農業関係者に意見を聞くなど協議を行っているが、実際に雇用するには多くの課題があり、県内外の他市町の活動状況や成功事例等を踏まえ、引き続き地域おこし協力隊の活用の研究をしていきたい。



三國真弓
(無所属)

エアコン設置助成について

問 経済的に困窮し、エアコンを使いたくても使えない高齢者を対象として、新型コロナウイルスや熱中症の予防対策としてエアコン設置費用等の補助をしてはどうか。

答 在宅での熱中症対策の普及啓発を中心にしている。現時点で助成制度を実施する予定はない。

学習の遅れの取戻し方について

問 本市は子育て環境日本一を掲げている。大阪市や東京都は学校外教育について一定の条件で助成を行っているが、本市においても学校外教育に対しての助成を行ってはどうか。

答 本市の場合、学校教育に最も力を注いでいる。学校において、家庭、学校、地域が一丸となって目の前の子どもたちが生き生きと生活、学習できるように尽力しているため、現在のところ学校外教育への助成は考えていない。

審議結果一覧

令和3年第4回定例会では、令和3年度各会計補正予算案9件、条例案4件、報告議案2件、一般・人事議案12件、議員提出議案1件、請願1件が審議されました。
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
令和3年度敦賀市一般会計補正予算（第10号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部及び施設勘定の部）特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和3年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
令和3年度敦賀市一般会計補正予算（第11号）	予算決算	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例並びに敦賀市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市集落排水処理施設の管理に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決

3 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（令和3年度敦賀市一般会計補正予算（第9号））	承認
専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）	報告のみ

4 一般・人事案件

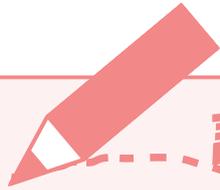
件名	付託委員会	結果
指定管理者の指定の件	産経建設	可決
指定管理者の指定の件	産経建設	可決
指定管理者の指定の件	文教厚生	可決
市有財産の処分の件	産経建設	可決
敦賀市一般廃棄物最終処分場建設工事（土木）請負契約の件	総務民生	可決
角鹿小中学校サブアリーナ新築工事及び角鹿児童クラブ新築工事請負契約の件	文教厚生	可決
敦賀市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	-	同意
敦賀市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求める件	-	同意

議員・委員会提出議案

件名	付託委員会	結果
敦賀市議会議員の定数を定める条例の一部改正の件	-	可決

請願

件名	付託委員会	結果
政府の新型コロナ禍での米価暴落対策が皆無の中自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める請願	産経建設	不採択



議会日誌

令和3年9月30日以降の主な議会活動の紹介です

- 10月**
- 20日 (水) 議会運営委員会
 - 21日 (木) 新幹線対策特別委員会
 - 25日 (月) 広報広聴委員会、福井県市町議会議員合同研修会
 - 26日 (火) 各派代表者会議、産経建設常任委員会

- 11月**
- 15日 (月) 産経建設常任委員会
 - 16日 (火) 広報広聴委員会、福井県市議会議長会議員研修会 (オンライン)
 - 22日 (月) 議会運営委員会
 - 30日 (火) 全員協議会、本会議 (12月定例会開会)

- 12月**
- 1日 (水) 予算決算常任委員会全体会・分科会
 - 6日 (月) 議会運営委員会
 - 8日 (水) 本会議 (一般質問)
 - 9日 (木) 本会議 (一般質問)
 - 10日 (金) 本会議 (一般質問)、各派代表者会議
 - 13日 (月) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
 - 14日 (火) 原子力発電所特別委員会、新幹線対策特別委員会
 - 15日 (水) 廃棄物対策特別委員会
 - 16日 (木) 予算決算常任委員会全体会
 - 21日 (火) 議会運営委員会、全員協議会、予算決算常任委員会、本会議 (12月定例会閉会)
 - 23日 (木) 広報広聴委員会

- 1月**
- 13日 (木) 広報広聴委員会
 - 19日 (水) 議会報告会収録
 - 20日 (木) 高校生と意見交換会 (福井県立敦賀高等学校 オンライン)、議員説明会
 - 27日 (木) 広報広聴委員会、議員研修会 (オンライン)、各派代表者会議

- 2月**
- 10日 (木) 広報広聴委員会
 - 17日 (木) 議会運営委員会
 - 18日 (金) 議員説明会
 - 20日 (日) 議会報告会 (放送)
 - 21日 (月) 議会報告会 (放送)



敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去 (平成27年から) の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157
 住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号
 発行所: 敦賀市議会
 委員: 山本貴美子、豊田耕一、川端耕一、縄手博和、中道恭子、今大地、林本晴恵、副委員長、山本武志、広報広聴委員長

編集委員



3月定例会の日程 (予定)

2 February		3 March					2022
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	
20	21	22	23	24 本会議 (議案説明・質疑)	25 予算決算 常任委員会	26	
27	28	31 予算決算 常任委員会	2 予算決算 分科会	3	4	5	
6	7	8	9 本会議 (採決・代表質問)	10 本会議 (代表・一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12	
13	14 常任委員会	15 特別委員会	16 特別委員会	17 予算決算 常任委員会	18	19	
20	21	22	23 本会議 (報告・採決)	24	25	26	